

『荒尾干潟水鳥・湿地センター(仮称)』の基本設計プランがまとまりました

“宝の海” 荒尾干潟を育む “活動と利用の拠点施設” = 『荒尾干潟水鳥・湿地センター(仮称)』の整備のあり方について検討した、『荒尾干潟 “活動と利用の拠点施設” 整備ワークショップ』。

昨年 11 月から 12 月にかけて全 3 回、各回およそ 30 名の市民と行政関係者(荒尾市、長洲町、熊本県)の皆様が荒尾市役所に集まり、施設整備のアイディアについて熱心な議論が交わされました。

これらの皆様の整備アイディアを基により詳細な検討を重ね、この度施設の大まかな機能や構成等を定めた基本設計プランがまとまりましたので、その概要をご報告いたします。

■ワークショップ全体の流れ

第 1 回ワークショップ

<11 月 11 日(水) 19:00~21:00 於: 荒尾市役所 11 号会議室>
テーマ: 『“活動と利用の拠点” の使い方を考えよう!』
~拠点施設の機能や空間のあり方について考えます~

第 2 回ワークショップ

<12 月 3 日(木) 19:00~21:00 於: 荒尾市役所 11 号会議室>
テーマ: 『“活動と利用の拠点” での整備内容を考えよう!』
~活動内容等にふさわしい整備内容について考えます~

第 3 回ワークショップ

<12 月 17 日(木) 19:00~21:00 於: 荒尾市役所 11 号会議室>
テーマ: 『“活動と利用の拠点” の整備プランをまとめよう!』
~拠点施設の整備プランの原案をまとめます~

■ワークショップ検討風景



『荒尾干潟水鳥・湿地センター(仮称)』基本設計プラン

施設の外観イメージ



■設計のポイント

《構造・デザイン》

☆背景となる松並木等、周辺の環境に溶け込む温かな木材を使用したシンプルなデザインとします。

1階 交流・展示・運営空間のイメージ



■設計のポイント

《建物内部空間構成》

- ☆1階は主に賑やかな交流・活動が行われる動的な空間、2階は利用者個々の学習や休憩等が行われる静的な空間とし、様々な目的をもった利用者がそれぞれ快適に過ごすことができるようにします。
- ☆1階は、多目的ホールを中心に、展示・運営スペース（“風景・自然”，“営み・取組”）を配置して、様々な利用のシーンに応じて各スペースを適宜仕切るようにし、大人数のイベントから、少人数でのミーティング等まで幅広い活動に対応させます。
- ☆2階は、企画展や活動団体等が自由に成果を発表できる展示スペースを中心に、松並木越しの干潟を望みながらつづくことのできる眺望・休憩エリア、自習や会議等様々な使い方のできる多目的室を設けます。

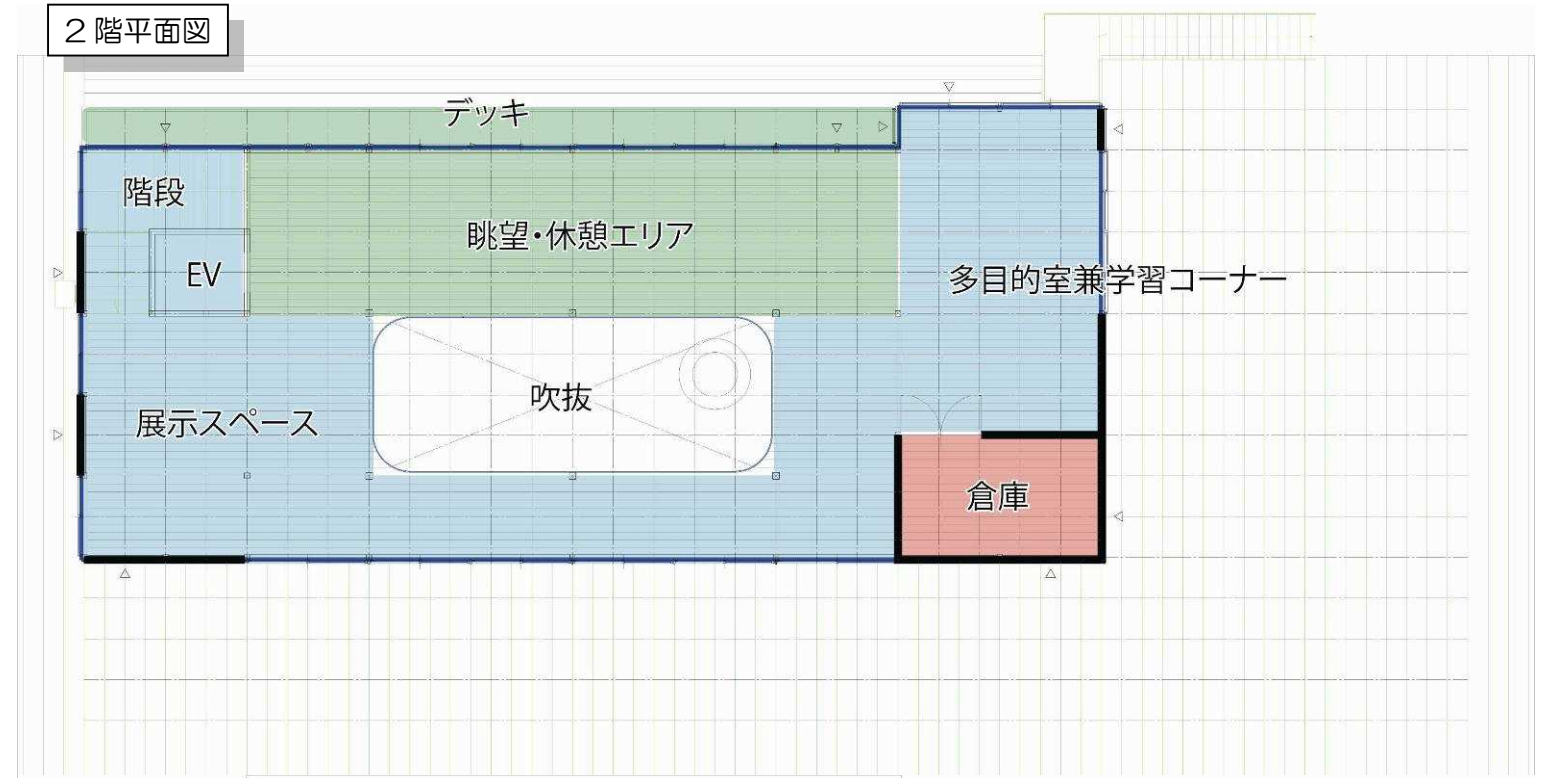
《動線・出入口》

- ☆荒尾干潟を取り巻く“風景”・“自然”・“営み”・“取組”といった、本施設が伝えるべき4つのテーマについて解りやすく学び・体験できるよう、2階へ至る階段やエレベーターを1階入口の対角線上の奥に配置し、1階入口から2階奥に至るまで、全てのスペースを自然な流れで利用できる動線を設定します。
- ☆建物と外部との円滑な動線を確保するため、1階の正面入口の他に、トイレ側の出入口と松並木に面する西側に大きなガラス戸を設け、開放感を演出するとともに干潟へのアプローチ性を高めます。

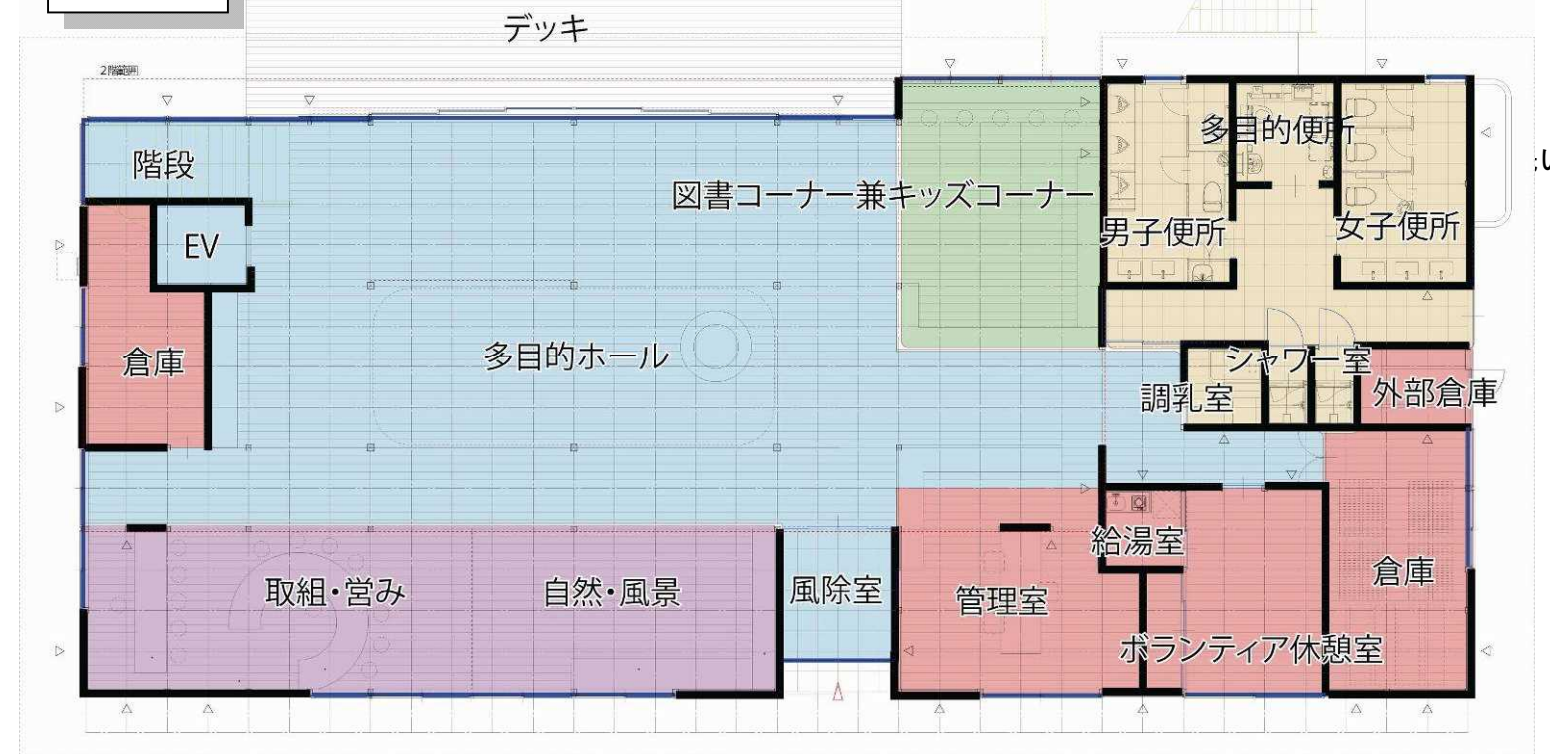
《展示物》

- ☆自然環境やワイズユース等について、楽しく体験しながら学ぶことができるよう、模型・ハンズオン展示をはじめ、実物展示（水槽）、PC等の映像・情報機器等を導入します。
- ☆展示物は基本的に可動式とし、様々な形態の活動に柔軟に対応できるようにするとともに、展示内容の更新も容易にさせます。
- ☆特に、入口正面には吹き抜けの高さを活かした立体展示を配置し、干潟の生き物やノリ栽培の様子等、重層的で複雑な干潟の仕組みを解りやすく伝える、シンボリックな展示を行います。

2階平面図



1階平面図



《諸室等》

- ☆本施設と干潟での活動が快適かつ円滑に行うことができるよう、利用動線上に足洗いやシャワー、外部倉庫を設けます。
- ☆トイレは建物の内部と外部の両方から利用できるようにします。
- ☆図書兼キッズコーナーは、施設スタッフとの質問のやりとりや、安全管理が行き届きやすい場所に配置します。
- ☆倉庫等は適正な容量を確保しつつ、階段下の空間を有効に活用したり、外部空間への眺望を妨げない場所に配置します。
- ☆窓を多く設け、明るい空間づくりを行います。

《ユニバーサルデザイン》

- ☆全ての利用者にとって使いやすいよう、ユニバーサルデザインの考え方に基づいた施設とします。

外部空間平面図



■設計のポイント

《施設配置》

- ☆敷地入口部分に、お祭り等イベントを行うことのできる多目的広場を設け、賑わいのある空間とします。
- ☆駐車場は建物の背後に設け、そこに至る車路とともに歩行者と自動車の分離を図り、安全を確保します。

《植栽》

- ☆立地環境にふさわしい海浜性の植栽種を選ぶとともに、車内からの見通しのしやすさ等の安全面や、隣地への落葉等の維持管理面についても配慮した植栽を行います。

※建築概要

敷地面積：約 2,500 m² 建築面積：458.74 m² 延床面積：584.85 m² 階数：2 階 高さ 9.48m 構造：木造

今後の施設の検討・整備スケジュールについて

今後の予定としては、平成 28 年度に建物本体、展示物、建物外部の工事に必要な詳細な図面を作るための実施設計を行い、平成 29 年度から施設の建設に着手する予定です。

環境省においては今回のワークショップでのアイデアを踏まえ、今後も関係者の皆様のご意見も伺いながら施設の管理運営等について荒尾市とともに具体的な検討を進めてまいります。

皆様におかれましても、「気軽に集うことができる」→「いつも楽しい様々な活動が行われている」→「また訪れたい」施設となるための活動や、それを支える管理運営のあり方について、引き続き想いを巡らせていただき、またそのアイデアを交換し合う機会等がございましたら、ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

この度のワークショップへのご参加、誠にありがとうございました。

■お問い合わせ先：

『荒尾干潟“活動と利用の拠点施設”整備ワークショップ』事務局／株式会社ブレック研究所九州事務所 担当：木寺・大道
〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名 2-4-19 TEL：092-771-5211 FAX：092-771-5330

■主催：

環境省 九州地方環境事務所 野生生物課 担当：清永
〒860-0047 熊本県熊本市西区春日 2-10-1 熊本地方合同庁舎 B 棟 4 階 TEL:096-322-2413 FAX:096-322-2447